

『人生の夏休み』 ～ 解決はできなくても 解消はできる ～

筆者は、2025年11月14日 病理医としての定例の病理組織診断業務に赴いた。【顕微鏡で『マクロからミクロ』の丁寧な観察】で、【『俯瞰的に 森を見て 木の皮まで診る＝病理医』&『がん哲学＝生物学＋人間学』】の『原点回帰の時間』である。

今度、2026 年 4 月札幌の第 115 回日本病理学会総会(大会長 田中伸哉教授：北海道大学大学院医学研究院腫瘍病理学／北海道大学病院病理診断科)のセッション『Meet the legend』で、講演『がん哲学外来の教え』の機会が与えられた。

『病理医の2つの使命』

- 1) 『学問的、科学的な責任』で病気を診断・治療する → 学者的な面
 - 2) 『人間的な責任』で手をさしのべる → 患者と温かい人間としての関係
- 『がん哲学外来の絶対性大原理』

愛がなければ全ては無意味

『がん哲学外来の真髄』

愛に溢れた雰囲気

静かな口調

にもかかわらず

『がん哲学外来の心得』

仮面を外し、心の垣根をとる

秘密は守る、リラックスした時間を過ごす

正直になる、積極的に人々に仕える

『病理医の3つの心得』

- 1) 世界の動向を見極めつつ歴史を通して今を見通せるようになる。
- 2) 俯瞰的に『がん』の理を理解し『理念を持って現実に向かい、現実の中に理念』を問う人材となる。
- 3) 複眼の思考を持ち、視野狭窄にならず、教養を深め、時代を読む『具眼の士』の種蒔く人材となる。

【『病気は人生の夏休み』 ～ 解決はできなくても 解消はできる ～】(画像)

樋野興夫

順天堂大学医学部教授
がん哲学外来理事長

病気は 人生の 夏休み

がん患者を勇気づける
80の言葉

病気になっても、年をとっても、

今の自分が
最高。

ゆっくり、丁寧に
品性をもって
生きることが、
後世への贈り物になるのです。



3000人以上の患者、
家族に希望を与えた
がん哲学外来
初の臨言集



ワニ本

定価(本体1100円＋税)